

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
4-⑤	観光を振興する		産業振興部、都市整備部				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31 年度
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
入込観光客の数 (年間)	万人	707	692	729			736
市と関係団体で作成 した観光メニューの 件数 (累計)	件	—	1	4			6
関連事業							
○魅力ある花火大会開催事業○七夕まつり開催事業○観光事業○新港大浜アクセス道路整備事業							
決算額							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費 (千円)	79,843						
執行率 (%)	100						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●第 66 回の花火大会は、観覧席入口付近での警備や大会終了後の照明器具の数を増やし、安全対策を強化して開催しました。 ●第 66 回の七夕まつりは、商工会議所青年部と青年会議所が中心となりボランティア募集に取り組み、クリーンボランティアやイベントボランティアなど市民参加を効率的に進めるとともに、恐竜展示や七夕プロレスを始め多種多様なイベントを市民主導で開催しました。 ●平塚市観光協会のホームページを活用し、花の開花情報など季節にあった観光資源を情報発信するとともに、「富士見スポット」など観光メニューの情報発信により、市内観光スポットの魅力化や観光地のPRを図りました。また、新たな広域観光の取組として「大山詣り」をテーマにした観光キャンペーンを伊勢原市などと協力して実施しました。 ●新港大浜アクセス道路について、海岸エリア魅力アップチャレンジの一事業として位置付けるとともに、海岸エリア周辺自治会へ周知を図りました。							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●花火大会について、安心安全な開催を確保するとともに、にぎわい創出と魅力アップのため、出資等の市民参加を進める必要があります。 ●七夕まつりについて、主催者である実行委員会において、市民主導による誘客や運営への参画を促進する必要があります。 ●観光協会について、自己資金での事業展開や民間の視点で事業の展開・創出ができる組織づくりに向けて、市と商工会議所が連携して当面の間、支援・協力していく必要があります。 ●新港大浜アクセス道路について、財産管理者である国と土地の使用について協議するとともに、交通管理者である神奈川県警と交通協議が必要となります。	●関係団体との役割分担による安心安全な開催を検討します。また、市民参加を促進するため、願かけ花火のPR強化に取り組むとともに、魅力アップのため、周辺の観光名所等のPRを行います。 ●市民に愛され、永く継続可能な七夕まつりとするために、各団体等と役割分担を行い、運営への市民参画を更に促します。特に、飾りの製作やステージイベントの企画は、各団体による市民主導で内容を拡充します。 ●本市の経済や産業の発展につなげるため、観光資源の魅力アップと新たな観光資源の発掘や観光協会と連携した観光のメニューづくりを進め、情報発信するとともに、名産品販売等を活用した観光協会の収益事業を支援します。 ●市内外からの人を効果的に集客するため、道路として使用する区域の決定に当たり、財産管理者と協議の上、道路の規模や構造を検討し、交差点計画などを交通管理者と協議します。